



SHUKUTOKU

**Shukutoku
University
Bulletin**

淑徳大学

研究紀要

第30号 I

創立30周年記念号

1995

「淑徳大学研究紀要第30号I」正誤表

頁(等)	箇所	誤	正
297頁	1行目 (題名)	Die Gefühle <u>fur</u> die..	Die Gefühle <u>für</u> die..
裏表紙	Contents 30行目	Die gefühle <u>fur</u> die Hinterbliebenen	Die gefühle <u>für</u> die Hinterbliebenen

淑徳大学研究紀要

創立30周年記念号

第 30 号

I

1 9 9 5

記念号の発刊に寄せて

学 長 長谷川 匡 俊

昭和40年（1965）4月、大乘淑徳学園の頂上機関として設立された淑徳大学は、本年創立30周年を迎えました。開学2年目にして創立者長谷川良信先生を失い、厳しい試練の歳月を経て今日あることに万感胸に迫るものを禁じ得ません。とりわけ、90年代に入ってからの本学は、激変する社会と我が国高等教育行政の動向、一連の大学改革の進展に促されたとはいえ、教職員、学生、父母及び法人等の内発的な改革と建設の意志と努力とによって目ざましい変貌を遂げつつあります。

創立者は淑徳大学の使命として、第一に教育、第二に研究、第三に地域開発を掲げられました。今、それぞれ現況の一端にふれるとすれば、第一の教育に関しては、この2年有半カリキュラム改革を断行し、来年度より新カリキュラムへの移行が準備されていること。教員及び学生による授業評価についてのアンケート調査を実施し、各授業の改善充実に資するよう努めていることなどが挙げられます。また、第三の地域開発については、社会福祉研究所の発達臨床研究センターにおける発達障害児の治療教育活動をはじめ、地域住民を対象とした各種公開講座の開講、千葉エクステンションセンターの開設等、未だ十分とはいえないまでも地域的な視点に立った大学運営を目指して取り組んでおります。

そして第二の研究については、平成元年（1989）大学院社会福祉学研究科修士課程の発足以来、研究活動の活性化を図るべく、自己点検・評価に踏み出し、本学専任教員の研究活動状況の概要を、平成4年3月発行の「淑徳大学研究年報」で発表いたしました。また、本学研究紀要への投稿編数は年々増加の傾向にあり、昨年度より社会学部研究叢書の刊行も始まるなど、学内における各種研究例会や共同研究もいよいよ活況を呈してきております。30周年記念号にあたる本誌を2分冊のⅠとして上梓いたしますのもこうした学内研究活動の積極的展開を裏付けるものであります。

なお、本年度は4月より大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程が発足しました。目下、次の事業として、本年完成年次を迎えた社会学科の基礎の上に、社会学専攻修士課程を設置すべく申請する一方、埼玉県三芳町のみずほ台キャンパスに新学部「国際コミュニケーション学部」の開設を目指して設置認可申請中であります（いずれも平成8年度開設予定）。30周年の節目の年にチャレンジするこのような新規事業を通して、21世紀に向けての本学の基盤整備をより堅固なものとしてまいりたいと考えております。

30周年記念号の発刊にあたり、大学の概況と所感の一端を述べ、本誌編集の任にあたられた研究公開委員会諸氏の労を多としご挨拶といたします。

目 次

記念号の発刊に寄せて

.....学長 長谷川 匡 俊

日本語と人称

.....富 田 信 一..... 1

ジャカルタ在留韓国系企業駐在員の家庭生活（I）

.....高 橋 準 郎..... 23

経営情報システムにおける仮想概念

——仮想在庫管理システムを中心に——

.....岡 田 匡 令..... 57

ファッショ・シチリアーニ再論（1888年～1894年）

.....横 山 隆 作..... 73

文化心理学の方法論的基礎について

.....田 中 一 彦..... 91

ジェイムズ・サーバー論（III）

.....岸 上 眞 子.....121

ニュージーランドの保育サービス

——その概要及び日本との比較考察——

.....柏 女 霊 峰.....151

デュルケーム犯罪論とその批判的再検討

.....野 田 陽 子.....169

日中間における国際人口移動と社会的ネットワークの形成過程
.....田 嶋 淳 子.....187

ピアトリス・ウェブの福祉政策理念（Ⅰ）
.....金 子 光 一.....209

研究ノート

高校生の大学進学希望の実態とその構造
——首都圏の高校生を中心に——
.....米 川 茂 信.....251

遺される者への思い
——萬葉の死——
.....伊 藤 益.....285

執 筆 者 紹 介

富 田 信 一	(本学教授	フ ラ ン ス 語)
高 橋 準 郎	(本学教授	地 域 社 会 学)
岡 田 匡 令	(本学教授	経営情報システム論)
横 山 隆 作	(本学教授	社 会 政 策)
米 川 茂 信	(本学教授	社 会 病 理 学)
田 中 一 彦	(本学教授	社 会 心 理 学)
岸 上 眞 子	(本学助教授	ア メ リ カ 文 学)
柏 女 霊 峰	(本学助教授	社 会 福 祉 学)
野 田 陽 子	(本学助教授	社 会 病 理 学)
田 嶋 淳 子	(本学助教授	都 市 社 会 学)
伊 藤 益	(本学助教授	倫 理 学)
金 子 光 一	(本学助手	社 会 福 祉 学)

編集：研究公開委員会委員

※川 上 昌 子	岡 田 匡 令	高 橋 準 郎
千 徳 廣 史	染 谷 俣 子	(※委員長)

淑 徳 大 学 研 究 紀 要

－創立30周年記念号－

第30号 I

1995年 9 月20日 印刷

1995年 9 月30日 発行

編 集 淑徳大学研究公開委員会

発 行 淑 徳 大 学

千葉県中央区大蔵寺町200

電 話 043 (265) 7 3 3 1

印 刷 (株) 正 文 社

千葉県中央区都町2-5-5

Shukutoku Daigaku Kenkyu Kiyo

(Shukutoku University Bulletin)

No.30— I

September 1995

Contents

Foreword Masatoshi HASEGAWA, President	
Relations de personne dans le japonaisShin'ichi TOMITA.....	1
Homelife of Members of Korean Companies Living in Jakarta(I)Junro TAKAHASHI	23
On the "Virtual Concept" in Management Information System A Case of Computer-based Inventory Control System with Virtual ConceptMasanori OKADA	57
I Fasci Siciliani (1888-1894)Ryusaku YOKOYAMA	73
On the Methodological Foundation of Cultural PsychologyKazuhiko TANAKA	91
On James Thurber (III)Mamiko KISHIGAMI.....	121
Early Childhood Education in New Zealand —the Overview and Comparative Study with the Japanese Childcare System—Reiho KASHIWAME.....	151
Durkheim's Theory of Crime and the Critical Reconsideration of itYoko NODA.....	169
International Migration and Process of Formation of Social Networks between Japan and ChinaJunko TAJIMA	187
Beatrice Webb's Ideas on Social Policy (I)Koichi KANEKO.....	209
Note The Reality and Structure of the Aspiration for Entering College among High School StudentsShigenobu YONEKAWA	251
Die Gefühle für die Hinterbliebenen —Der Tod in "Manyoushu"—Susumu ITOH	285

Published by

Shukutoku University

200 Daigangi-cho, Chuo-ku, Chiba-shi, 260 Japan

Tel. 043-265-7331

Editor-in chief : Masako KAWAKAMI

Editors : Masanori OKADA, Junro TAKAHASHI, Hiroshi SENTOKU, Yoshiko SOMEYA